

AP RACING Formula Brake Kit 点検チェックリスト



点検作業日	年	月	日
お客様名			
車種			
走行距離	km		

点検内容(○:異常無し ×:要部品交換or異常有り △:注意)

1.定期交換部品の確認	フロント	リア	部品交換	備考		
ブレーキパッド残量 右	mm	mm	mm	mm	<input type="checkbox"/>	
新品時 mm 左	mm	mm	mm	mm	<input type="checkbox"/>	
ディスク残量 右		mm		mm	<input type="checkbox"/>	
新品時 mm 左		mm		mm	<input type="checkbox"/>	
ピストンシールのオイル漏れ					<input type="checkbox"/>	
ブリードスクリュウ(ニップル)					<input type="checkbox"/>	
ブレーキホース					<input type="checkbox"/>	
パッドピン					<input type="checkbox"/>	

2.キャリパーの確認	フロント	リア	備考
外観の状態			
オイル漏れの確認			
ダストブーツの状態			
パッドピンの状態			
パッドリテーナーの状態			

3.ディスクの確認	フロント	リア	備考
クラックの発生			
異常磨耗の確認			
マウンティングベルの状態			
ディスクの振れの確認 右		mm	mm
左		mm	mm

4.ボルトの緩みの確認	フロント	リア	備考
キャリパー固定ボルト			
ブラケット固定ボルト			
ディスク固定ボルト			
パッドリテーナーボルト			
ブリードスクリュウ			
バンジョーボルト			

5.その他	フロント	リア	備考
エアの混入			
ハブの振れ 右		mm	mm
左		mm	mm
ハブ面の状態			

6.連絡事項

※チェックリストは、コピーを作成し当社でも保管致します。

作業工場名 :
 作業者名 :

印

※車検証等と一緒に大切に保管して下さい。

AP RACING Formula Brake Kit 点検内容一覧



1.定期交換部品の確認	点検内容	交換目安
ブレーキパッド残量	パッド残量、異常磨耗、方減り等の確認。	摩材残量3mmまでに交換。 サーキット走行時は、新品時から50%の磨耗で交換を推奨。
ディスク残量	ディスク厚計測、異常磨耗の確認。 ディスク1枚につき、3箇所計測。	新品時の厚みより、1mm磨耗していたら交換。 (走行距離は500km~20,000kmが目安)
ピストンシールのオイル漏れ	オイル漏れや滲みの確認。	1年毎を推奨。サーキット走行などで高い熱害を受けた場合は、交換を行って下さい。
ブリードスクリュー(ニップル)	腐食やオイル漏れ、滲みの確認。 テーパ部分に傷や段差がないか。	2年毎を推奨。エア抜きを頻繁に行う場合は、早めに交換をして下さい。
ブレーキホース	腐食やオイル漏れ、滲みの確認。 メッシュ部分にササクレがないか。	1年毎を推奨
パッドピン (CP7600、6600、7040シリーズ)	腐食や磨耗、スプリングのヘタリ。	ブレーキパッドと同時交換を推奨。

※交換目安は、使用状況により異なります。点検は定期的実施し、必要に応じて部品の交換を行って下さい。

2.キャリパーの確認	点検内容	備考
外観の状態	石跳ねによる塗装剥がれや各部との干渉による傷の確認。表面の変色等。	サーキット走行等で大きな熱が加わると変色する場合があります。
オイル漏れの確認	ブレーキフルードの漏れや滲みがないか。	ピストン部分、ブリード、連結パイプ、ホース部分を点検。
ダストブーツの状態	ダストブーツが破れていないか。	サーキット走行等、熱が掛かると破けやすくなります。
パッドピン、アンチラトルクリップの状態	振動でパッドピンがずれていないか。 磨耗、腐食、スプリングのヘタリ。	スプリングは、脱着を繰り返すと、スプリングが弱くなります。
パッドリテーナー、アンチラトルクリップの状態	磨耗、腐食の確認。	

3.ディスクの確認	点検内容	備考
クラックの発生	フェイス面のクラックの状態確認。 フランジ部分のクラックの発生等。	ディスク慣らし不足や急激な温度上昇、急激な冷却などによってクラックが発生します。
異常磨耗の確認	表裏の磨耗具合の確認。	使用環境によって、表裏で磨耗具合が異なってきます。
マウンティングベルの状態	石跳ねによる傷や腐食の発生。	腐食の発生は、マウンティングベルの寿命を早めます。
ディスクの振れの確認	ハブの振れと比較し、ディスクに異常が無い確認。	ハブの振れの数値も確認し総合的に状態を判断します。

4.ボルトの緩みの確認	点検内容	備考
キャリパー固定ボルト	振動による緩みが発生していないか。	締め付けトルクは取扱い説明書参照。
ブラケット固定ボルト	振動による緩みが発生していないか。	締め付けトルクは取扱い説明書参照。
ディスク固定ボルト	振動による緩みが発生していないか。	締め付けトルクは取扱い説明書参照。
パッドリテーナーボルト	振動による緩みが発生していないか。	締め付けトルクは取扱い説明書参照。
ブリードスクリュー	振動による緩みが発生していないか。	締め付けトルクは取扱い説明書参照。 注意！※締めすぎるとキャリパーを破損する場合があります。
バンジョーボルト	振動による緩みが発生していないか。	締め付けトルクは取扱い説明書参照。

5.その他	点検内容	備考
エアの混入	ブレーキラインにエアが混入していないか。	フルード交換目安:DOT5.1 1~2年毎。サーキット走行を行う場合は、走行前に新品にする事を推奨致します。
ハブの振れ	ハブベアリングの異常の確認。	0.04mm以上のハブの振れが有る場合は、ハブのメンテナンスが必要です。
ハブ面の状態	錆びや汚れの除去。	ハブ面は、常に綺麗な状態で使用して下さい。